



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.16
(通巻225号)
令和3年(2021)
1月12日(火)

『冬来たりなば春遠からじ』

校長 飯野 博史

あけましておめでとうございます。緊急事態宣言再発令とともに後期後半がスタートしました。生徒の安全・安心を最優先に、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら今年も教職員一同、全力で教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

今、一年で最も寒い時期を迎えました。この三連休は日本海側の地方を中心に超一級の寒波が襲来し、東京では想像も出来ないほどの大雪が降り積もりました。

大晦日、島根県の国道9号線では大雪のため、23キロにわたって約1000台もの車が動けなくなりました。帰省の途中で、小さな子供を乗せた家族連れの手車もたくさんあったそうです。寒さのためにエアコンをつけたいところですが、燃料がなくなる恐れもありやむなくエンジンを切り、寒さと空腹、夜の暗さに不安な思いで一夜を明かした車がたくさんあったといいます。そんな中、沿道の人たちが困っている人たちに「小さな親切」を始めました。

ある人は「トイレ」と書いた大きな看板を電柱にくくり付け、自宅のトイレを使ってもらうことにしました。約50人ほどがトイレを借りにきたそうです。「ありがとうございます。」どの人もみんなお礼を述べて車に戻っていきました。

ある人は飲食店を営んでいるので、無料で温かいそばを提供しました。小さな子供連れの家族は「おいしいね。温まって良かったね。」と言っておそばをおいしそうに食べ、何度も何度もお礼を言いながら車に戻っていったそうです。飲食店の方は、喜んでおそばを食べる家族の姿を見て胸がジーンと熱くなったと言っていました。おにぎりやお茶の差し入れをした人たちもたくさんいたようです。

その後、これらの親切に対してお礼の手紙が次々と届きました。「トイレを貸していただいて本当に助かりました。」「温かいおそばを食べて生き返ったようでした。元気が出て、無事家につきました。おいしかったおそばの味は一生忘れません。」といった内容でした。見ず知らずの行きずりの人たちから、心のこもった手紙を受け取って沿道の人たちは大変感動したそうです。

これは10年前にテレビニュースで紹介された話題ですが、今でも心に残っています。「小さな親切」が「大きな感動」につながっていきました。新型コロナウイルス感染が拡大し、不安な状況が続きます。しかしこんなときこそ、周りに目を向け、お互いを思いやる気持ちが必要です。「小さな親切」でも、出来ることから始めていきましょう。

ソーシャルディスタンスでお互いの体と体の距離は離れても、心と心はしっかりとつながる一年にしていきたいと思えます。

「冬来たりなば春遠からじ」…1, 2年生は進級に向けて、3年生は受験・卒業・進学に向けて、後期後半怠りなく準備を進めていきましょう。

「冬来たりなば春遠からじ」この厳しい状況をみんなで乗り越えていきましょう。

◎生徒の活躍

・令和2年度第73回英語学芸大会（東京都中学校英語教育研究会主催）

【Speaking】の部 A

3位 ○○○○さん What will life be like in Japan after coronavirus?

【Speaking】の部 B

1位 ○○○○さん About my interesting book

◎オリンピック・パラリンピック教育講演会（人権講演会）感想

12月10日（木）パラリンピック競泳アスリート 木村敬一選手の講演を聴いて、感想を交えてお礼文を書きました。

◎保護者の方の感想（公開日だったので保護者の方からも感想をいただきました）

- ・Zoomによる講演会、とても興味深かったです。E組生徒もとても集中して話を聞くことができました。自宅でも人権について話し合ってみたいと思います。
- ・パラリンピック・メダリスト 木村敬一さんの貴重な体験談を拝聴することができ、有意義な時間でした。動画ではなくオンライン配信だと質疑応答などですぐに疑問点が解消され、さらに感動しました！！
- ・パラ選手の生の声を聞かせていただける貴重な機会をありがとうございました。「頑張りたいことがあるなら限界まで思い切りやる。そうすれば結果にかかわらず自信になる」という言葉が子供たちの心に届いてほしいと思います。アメリカ人との体質の違いの話から、各々が自分の特性を受け止め、自分に合ったやり方で頑張ること、それをお互いに尊重し合う仲間関係を築いてほしいと思いました。

◎生徒たちの感想

- ・今日はこのような素敵な講演会を開いてくださり、ありがとうございました。私も水泳をしていた時期があるのですごく聞いていておもしろかったです。目が見えないからスポーツが出来ない、手足が無いからスポーツが出来ない、など障がいがあるから出来ないではなく、それを生かしてスポーツをすることで、子供から大人までたくさんのお話を伝え、広められるんだなと思いました。そして木村さんは本当に「水泳」が大好きという気持ちが伝わってきました。最後の質問「水泳をしていて良かったことはありますか？」に対して、「良いことだらけですよ。水泳がない人生が考えられません」と言っていてカッコいいと思いました。私もそういうふうの一つのことを一生懸命に取り組みたいと思いました。今日は驚きや新しい発見がたくさんありました。とても楽しかったです。パラリンピック、頑張ってください！応援しています！！
- ・今回最も印象に残っているのは、リオデジャネイロで行われたパラリンピックについてのお話です。世界各国から集まった選手たちが過酷なスケジュールの中で世界一を狙うということでした。とくに木村選手は5日間連続で戦うという、肉体的にも精神的にもとても疲労がたまる中で、たくさんメダルをとっていたことに感動しました。木村選手のように前向き、かつ冷静に考えられるように僕もなりたいです。また「勝っても負けても、自分はここまで頑張ってきたんだ」と思えるように、スポーツや勉強のみならず、たくさんのお話に励みたいです。今年は、新型コロナウイルスの影響もあって東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期になりました。木村選手も十分な練習が出来ていないことがあったかと思いますが、僕たちも一丸となって応援します。東京パラリンピックで金メダルを期待しています。
※他にも心の温まる感想文、お礼状がたくさんありました。木村敬一選手のお話がとても心に残ったようです。金メダル目指して頑張ってください。みんなで応援しています。